

## 人間の鎖・パブコメ結果・市会傍聴

昨日 25 日昼、大阪市役所を取り囲むヒューマンチェーン（人間の鎖）が行われた。「広域一元化条例」やカジノに反対する市民団体が共同して企画した。約 450 人がプラカードやステッカーを持って、市役所をとり囲んだ。コロナ禍なので手をつなぐず、距離をあけての鎖だったが、市職員や行きかう人に市民の声が届いたことを期待したい。



その前に市役所 1 階の市民情報プラザで、報道関係資料などをチェックした。24 日に、広域一元化条例案「パブコメ結果」が公表されていた。



提出された意見は 1404 名から 2002 件。短期間に多くの意見が寄せられたものだ。公表可 1607 件について、意見の概要と府・市の考え方が 8 ページに整理してある。

【ご意見等と大阪府・大阪市の考え方】		
<p>※ 本手続は、「大阪府及び大阪市における一体的な行政運営の推進に関する条例（案）の骨子」に対するご意見を幅広く伺うことを目的としたものであり、家への賛否を把握できる方法でご意見をいただいたものではありません。</p> <p>※ 公表可のご意見等（1,607 件）のうち、条例の内容に関するご意見（56 件）について、大阪府・大阪市の考え方を記載（15 項目）しています。また、その他のご意見（本条例を検討していることに対するご意見・その他施策に関するご意見など）についても、主なものを記載しています。</p> <p>※ 一人の方から内容の異なるご意見等が複数提出されている場合、その数だけご意見等を提出いただいたものとして集計しています。</p> <p>※ 類似のご意見については適宜整理し、具体的な名称等が記載されている場合は「***」のように表視して掲載している場合があります。個人や団体を特定又は隠匿できる情報は削除しています。</p>		
条例の内容に関するご意見		
NO.	提出意見概要	大阪府・大阪市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 副首都推進本部会議（大阪府市）会議で協議すべき事項として、「大阪の成長及び発展」に関するものと限定されているが、もっと広く協議すべき。</li> <li>○ ***（個別の推進内容）についても協議対象とすべき。</li> </ul>	<p>ご指摘の点については、令和3年1月22日の副首都推進本部会議においても議論があり、協議内容を幅広く対象とする方向で検討を進めており、条例（案）に反映してまいります。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 副首都推進本部（大阪府市）会議で、大阪の成長・発展の基本的な方針等を協議するに際し、PDCAサイクルのチェック機能をきちんと働かせる必要がある。</li> </ul>	<p>ご指摘のとおり、PDCAサイクルを活用したチェックは重要であると考えています。副首都推進本部（大阪府市）会議で、合意事項についての進捗状況の管理を行うことを規定することとしています。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 副首都推進本部（大阪府市）会議のメンバーはどのようになるのか。</li> </ul>	<p>大阪府知事（本部長）、大阪市長（副本部長）、知事・市長の補助機関である職員の中から選任した者（本部長）等で構成します。</p>

市民の意見のまとめ方が、いい加減であり、府・市の考え方も型通りの回答に終始している。20 日に締め切って、数日間でもとめたもの。まじめに市民の声を聞く気持ちなど、最初からなかったのだろう。読んでいて腹が立ってきた。

条例案骨子案が提案された副首都推進本部会議を傍聴して、かなりの時間をかけて意見をまとめてきた。締め切り数日前に条例案が公表されたあと、それに対する「追加意見」も副首都推進局に直接持って行った。そうした意見が、ほとんど反映されていない。それぞれの意見への回答ではなく、意見が適当に集約され、ありきたりの回答が綴られている。予想されたことだが、大阪府・市の市民に対する不誠実な態度を象徴するものだ。

14 時からは市会定例会を傍聴した。この日、一元化条例案は府議会に上程されたが、市会は来月 4 日の予定という。定例会は常任委員会報告のあと、関連質疑と来年度予算案の説明などが行われた。眠くなるような報告が続いたが、議案第 9 号「大阪市立学校設置条例の一部を改正する条例案」の討論では目が覚めた。

自民、共産、市民第一の反対討論により、生野区西部の小中学校再編問題の重要性を再認識した。起立採決の結果、維新と公明の賛成多数で可決された。夜に住民説明会が再度開催されるようだ。この問題にも腹が立ってきた。またレポートしていきたい。

(2021 年 2 月 26 日)